

長期ビジョン「100年ブランドの確立」のもと
100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、
企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長に
取り組みます。

代表取締役会長兼社長

河合弘隆



2020年に入って間もなく新型コロナウイルスが猛威を振るい、1年以上経った今でも依然として国内のみならず海外においても大きな勢力を保ち、世界の隅々にまで広がっています。亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様ならびにそのご家族に対し心よりお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止や治療などに昼夜問わずご尽力されている医療関係者の皆様に深く敬意を表し感謝申し上げます。

中期経営計画『Resonate 2021』への取り組み

当社グループは、長期ビジョン「100年ブランドの確立」を策定し、祖業であり経営の原点であるピアノづくりを軸とした持続的な成長を図ってまいりました。

2019年にスタートした第6次中期経営計画『Resonate 2021』（2019年度～2021年度）は、今年で3年目の最終年度となりました。『Resonate 2021』では「100年ブランドの確立」に向け成長のため更なる基盤強化として「販売力」、「製品・サービス力」、「生産力」、「組織力」を深化させ企業価値の向上に努めております。

2020年度を振り返りますと、まず販売の状況としては、アコースティックピアノは各国政府からの外出規制や楽器店の休業命令により大きな影響を受けましたが、ハイブリッドピアノやデジタルピアノについては、日本、欧州、北米において巣ごもり需要により好調に推移いたしました。また、国内の音楽教室および体育教室については、昨年の新学期シーズンを直撃した事で生徒募集ができず大きな影響を受けました。教室の休講措置の影響などがあったものの会社を挙げて挽回努力をした結果、生徒数は回復してきております。海外でも新型コロナウイルスの影響を受けておりますが、中国や東南アジアでは音楽教室のオンラインレッスンの活用および展開の強化に取り組んでおります。

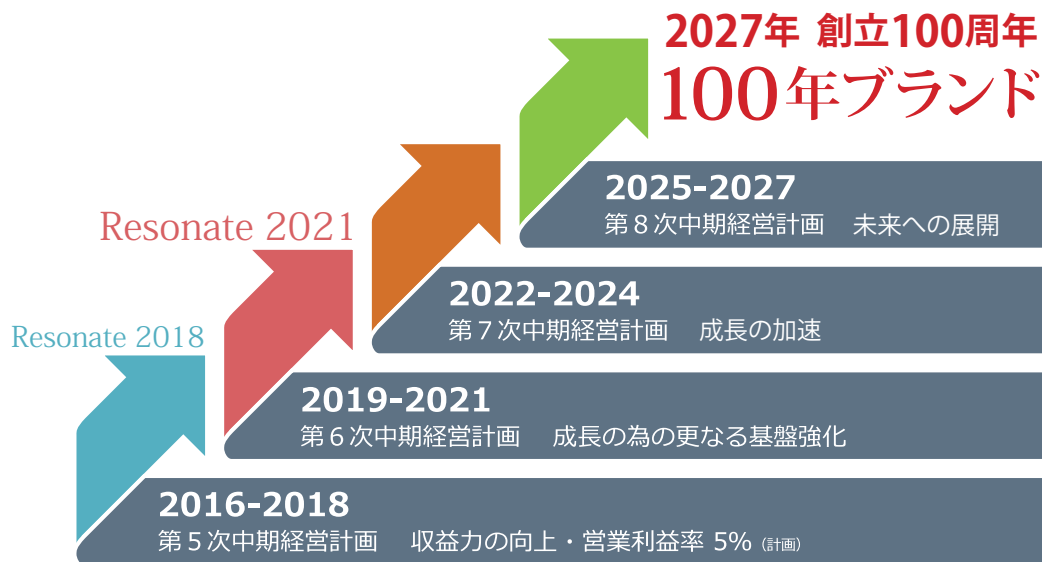
次に、製品・サービスについては、事業運営に大きな制約が続く中、デジタルピアノの新モデル「CA59」「CA49」や、当社

のマザー工場である竜洋工場の竣工40周年を記念したブランドピアノ「GL-10SE」など様々な製品を発売いたしました。また、新型コロナウイルスの影響によりコンサートが中止・延期となる中「音楽を通じて前向きに明るく過ごしていただく一助になれば」という思いから、コンサートのオンライン配信「Streaming+（プラス）」を開始いたしました。

生産面では、アコースティックピアノ・デジタルピアノともに研究開発体制、生産体制が国内外で整ってまいりました。両者の連携体制で日本、中国、インドネシアの事業が有機的に結びつき効率的な連携プレイができており、特にデジタルピアノにおいては販売に結び付く魅力的な商品づくりに繋がっております。

最後に組織面ですが、こうした先行きが不透明な時代だからこそ、これからのカワイを担う人材の育成が重要となります。若手の成長や女性活躍、一人一人が持つ力を十分に発揮できる職場づくりのためのダイバーシティ推進やワークライフバランスなど、さまざまな課題に尽力してまいりました。

100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させてお客様満足度の向上を追求するとともに、音楽文化への貢献を通して企業価値・ブランド力の向上に取り組んでまいります。



長期ビジョン「100年ブランドの確立」と第6次中期経営計画「Resonate 2021」の位置づけ

人財育成への取り組み

2019年に「女性活躍推進プロジェクト Love it! (ラビット)」を発足し女性活躍の推進に努めてまいりました。2020年8月、新たに竜洋工場でも女性ならではの目線でよりよい工場づくりを目指す「竜洋工場 女性活動チーム」を結成するなど、女性の活躍の場が広がりを見せています。

2021年1月にはこのような活動が認められ、女性が活躍できる企業の証である「えるぼし認定」を取得いたしました。「えるぼし認定」は、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等の優良な企業が、厚生労働大臣から認定を受けることができます。

また、当社グループで働くすべての人とその家族の心身の健康が、経営の基盤であり、社会にとっての大切な財産であると認識し積極的な健康づくりを推進してまいりました。このことが評価され、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2021」にも継続して認定されております。

環境への取り組み

ピアノには、世界各地から産出される様々な木材や、羊毛から作られるフェルトなど多くの天然素材が使用されています。様々な自然資源の恩恵を受けて事業活動を行っている当社グループの持続的発展には、豊かな自然環境が保たれることが不可欠となります。このことから1994年に「地球環境憲章」と「環境方針」を定め、その理念を推進する体制として全社で組織する「カワイ地球環境委員会」を設置しました。

そして、地球環境の保全に配慮した事業活動を推進するにあたり、1997年に竜洋工場において業界で初となる環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得し、以後、日本、中国、インドネシアの主な生産拠点に ISO14001 を導入してまいりました。環境保全に配慮した事業活動の重要な取り組みとして「木材調達ガイドライン」などの方針に基づいた責任ある調達、資源効率向上による省エネルギー、CO₂ 排出量および廃棄物の削減、リサイクルによる資源循環の向上などに注力しております。また、インドネシアでは、2007年から CO₂ の吸収源確保、樹木が伐採された土地の森林再生、将来の木材資源の確保等を目指し「カワイの森」植林活動を実施しております。

国際社会においては、2015年のSDGs(持続可能な開発目標)採択以降、パリ協定が発効するなど、持続可能な社会の実現に向けて大きく舵が切られました。また、新型コロナウイルスについては、ワクチンの接種が開始されるなど状況に改善の兆しも見え始めてはいますが、完全な終息にはまだ相当の時間を要することが予想されます。当社グループは、このような社会状況と事業環境の変化を踏まえて、様々な ESG の課題への取り組みを通じて持続可能な社会の実現に貢献することにより、皆様から信頼される企業を目指してまいります。

今後とも、皆様の一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。